すみだ五彩の芸術祭 自主企画

BRIDGE! 成果発表展

ブリッジ！ －アートと社会福祉のあわいのなかで－

すみだ五彩の芸術祭
SUMIDA ART FESTIVAL

表現すること、共にいることを考える

COMMUNITY

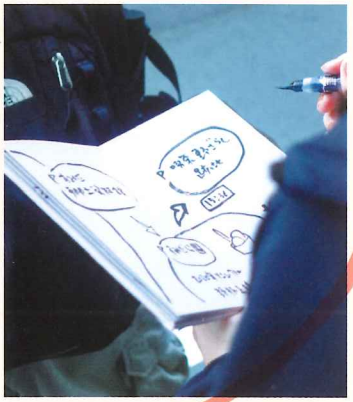




CULTURE



ART



SOCIAL WORK



WELFARE

川田知志 ／ さとうりさ ／ なんでそんなんプロジェクト ／ 野ざらし

2026.12.5㊏ － 12.20㊐ 入場無料

すみだ生涯学習センター（ユートリヤ） 開館時間：10:00～17:00 休場日：月曜・火曜（祝日の場合は開催）

ARTS COUNCIL TOKYO

文化庁

主催：「すみだ五彩の芸術祭」実行委員会、墨田区　共催：公益財団法人東京都慰霊協会
令和8年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業　アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

BRIDGE! 成果発表展

ブリッジ！ −アートと社会福祉のあわいのなかで−

2026.12.5㊏ − 12.20㊐

入場無料

すみだ生涯学習センター（ユートリヤ）

開館時間：10:00〜17:00
休場日：月曜・火曜（祝日の場合は開催）

ABOUT

「すみだ五彩の芸術祭」自主企画として開催する「ブリッジ！ーアートと社会福祉のあわいのなかでー」は、地域福祉の歴史や実践を社会福祉、アート、まちづくりが交差する文化運動と捉え、その可能性を考える展覧会です。

本展のテーマとなるのは19世紀のイギリスではじまり、墨田区でも盛んになっていた地域福祉の源流のひとつであるセツルメント運動。セツルメント運動は地域課題に応答するかたちで、保育、診療、法律相談、職業訓練、文化活動などさまざまな取り組みが複合的に展開されてきました。戦後、福祉に関する法整備なども進む中でセツルメント運動の役割は変化せざるを得なくなりますが、現代社会においてその横断性から学べることは数多くあるのではないでしょうか。本展では、セツルメント運動にみられるような地域福祉の理念や実践が内包している創造性に着目します。

墨田区も大きな被害を受けた関東大震災からの復興における都市の変化に目を向けた川田知志、区内の福祉施設利用者と共に居場所をテーマ共同制作を行なったさとうりさ、福祉や教育、あらゆる日常の当たり前を解きほぐす視点に気づかせてくれるなんでそんなんプロジェクト、ワークショップ参加者と共にまちの些細な風景を記録してきた野ざらし。4組のアーティストがセツルメント運動を手掛かりに、作品制作に取り組んできました。

成果発表展では、4組のアーティストが制作した作品や墨田区の地域福祉に関する資料の展示を行ないます。





ARTIST

川田知志

大阪府生まれ、京都府在住。2013年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻（油画）修了。大学でフレスコ技法を学び、公共空間における壁画制作を中心に作品を発表。都市近郊に広がる均質化した景色をモチーフにしながら、現代社会を記憶する壁画表現を探求している。近年の主な個展に「築土構木」京都市京セラ美術館ザ・トライアングル（2024年）、「彼方からの手紙」アートコートギャラリー（大阪／2022年）。主なグループ展に「MOTアニュアル2024　こうふくのしま」東京都現代美術館（2024〜25年）、「ホモ・ファーベルの断片―人とものづくりの未来―」愛知県陶磁美術館（2022年）など。

なんでそんなんプロジェクト

岡山県早島町にある生活介護事業所「ぬか　つくるとこ」が、2020年度より始めたプロジェクト。障害福祉や教育現場、そしてあらゆる日常で起こる誰かの理解できない言動を問題行動と捉えるのではなく、「なんでそんなん」とツッコミを入れるようにして“わからないことをわからないまま楽しむ”ことを実践している。「なんでそんなん」を集めた博覧会「なんでそんなんエキスポ」のディレクターは、アーティストの滝沢達史が務める。

さとうりさ

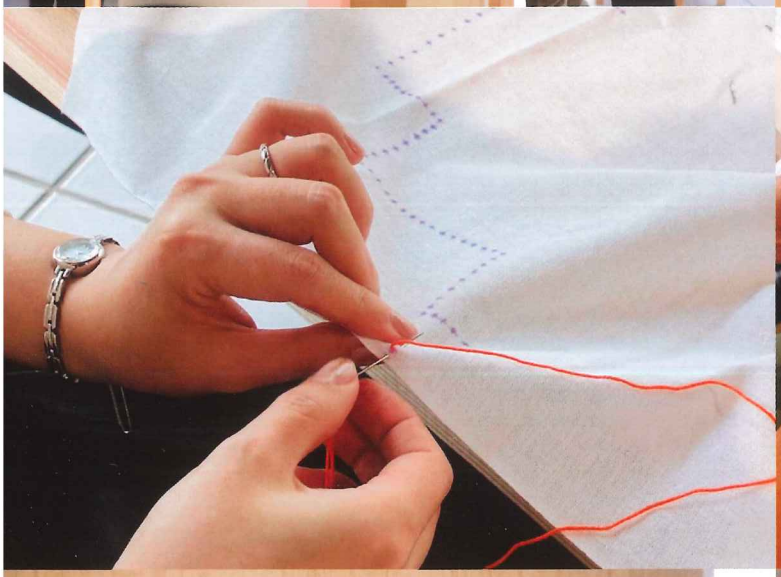
1972年東京都生まれ。神奈川県在住。1999年東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。ゆるやかな曲面で構成される抽象的な大型のソフトスカルプチャーやオブジェ作品を、屋内外を問わず公共空間に出現させ、「作品」が日常の「風景」に介入する方法と、それによって生まれる双方の変化を探究する。布地を用いたバルーン型の作品では、型紙制作から縫製、修復まですべて自身で手掛け、展示会場ごとの環境への対応にも注力。各地域や教育機関などでのワークショップでは共同制作を数多く行い、作品を通じたコミュニケーションの可能性を試みている。近年は絵本の制作や翻訳なども手掛ける。

野ざらし

アーティストの中島晴矢、建築家の佐藤研吾、キュレーターの青木彬が、墨田区でオルタナティブスペースをつくることをきっかけに集まったコレクティブ。ラディカルでフラジャイルでアジールな場を生み出すことを目指し、交流会やトークイベント、ワークショップなどを通じて、アート、建築、文学、音楽、福祉、農業といった領域を横断しながら、実験的な場づくりを続けている。

※内容は変更になる場合がございます。 ※展示中の記録（写真や動画）は、本事業の広報等で使用する場合がございます。










ACCESS



すみだ生涯学習センター（ユートリヤ）

東京都墨田区東向島2-38-7

・東武伊勢崎線・東武亀戸線「東武曳舟駅」、
京成押上線「京成曳舟駅」から徒歩7分
・都営バス「錦40」「里22」「草39」系統の
『東向島広小路（すみだ生涯学習センター前）』下車 徒歩約1分

INFORMATION

\ 両国会場もお楽しみください /

RYOGOKU EXHIBITION

ブリッジ！ –アートと社会福祉のあわいのなかで– 両国会場

川田知志の作品は東京都復興記念館でも展示中です。
すみだ生涯学習センター（ユートリヤ）の展示と合わせて
お楽しみください。

2026.9.9 (水) –12.20 (日)

開館時間：9:00~17:00（入館は16:30まで）
休館日：月曜（祝日は開館し、その翌日が休館）

東京都復興記念館 東京都墨田区横網2-3-25

・都営地下鉄大江戸線「両国駅」（江戸東京博物館前）
A1出口より徒歩2分
・JR両国駅西口から徒歩10分



EVENT

参加無料　予約優先　詳細・お申込みは、各イベントの二次元コードよりご確認ください。

12.5 トーク

伊沢正名さんと語る「なんでそんなん」学会

過去に受賞した事例を振り返り、「なんでそんなんとは何か?」を深める、ゆるく真面目な談笑会。基調講演では「生き方がなんでそんなん！」糞土師・伊沢正名さんを迎えます。

日時：12月5日（土）11:00～15:30
（12時から1時間半程度の休憩を挟みます）
会場：曳舟文化センター和室
定員：25名

12.6 トークツアー

ブリッジ！作品鑑賞ツアー
@東京都復興記念館

ブリッジ！参加アーティスト・川田知志、本展ディレクター・青木彬、東京都復興記念館調査研究員・森田祐介と共に作品を鑑賞し、墨田区の復興の歴史と川田が描く作品について考えを深めます。

日時：12月6日（日）10:00～12:00
会場：東京都復興記念館
定員：20名

12.12 / 12.13 トークツアー

ブリッジ！作品鑑賞ツアー
@すみだ生涯学習センター（ユートリヤ）

本展ディレクター・青木彬がアートと地域福祉のつながりや各作品の魅力を語りながら、展覧会をご案内します。

日時：12月12日（土）13:00～14:00
12月13日（日）13:00～14:00
会場：すみだ生涯学習センター（ユートリヤ）
1階展示ギャラリー
定員：各回15名

CONTACT

「すみだ五彩の芸術祭」実行委員会

sumida_artfest@city.sumida.lg.jp
（土日祝日を除く）

「ブリッジ！」は、「すみだ五彩の芸術祭」の一環として行っています。芸術祭のプログラムは本展の他にも、区内全域でお楽しみいただけます。ぜひ他の会場も巡ってみてください。

ウェブサイト
https://sumida-artfest.jp/

キュレーション：青木彬
企画運営：一般社団法人藝と
会場構成：スタジオメガネアーキテクツ
ビジュアルデザイン：中北隆介

